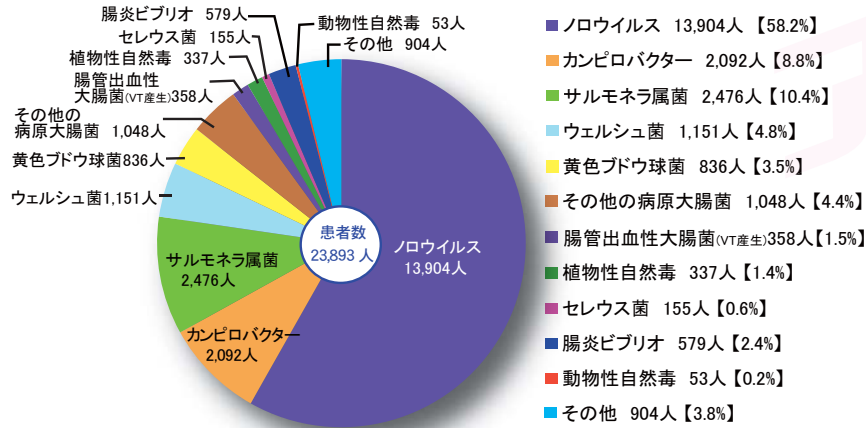


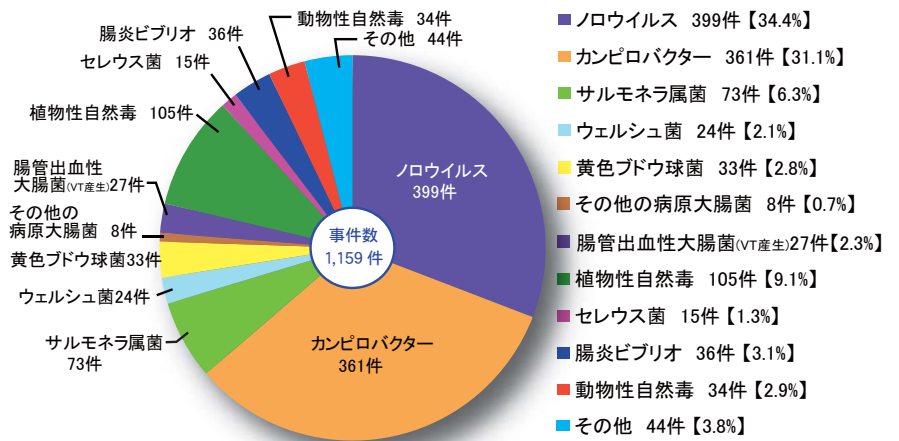
食中毒発生状況 平成 22 年統計

平成 22 年度 食中毒病因物質別判明患者数



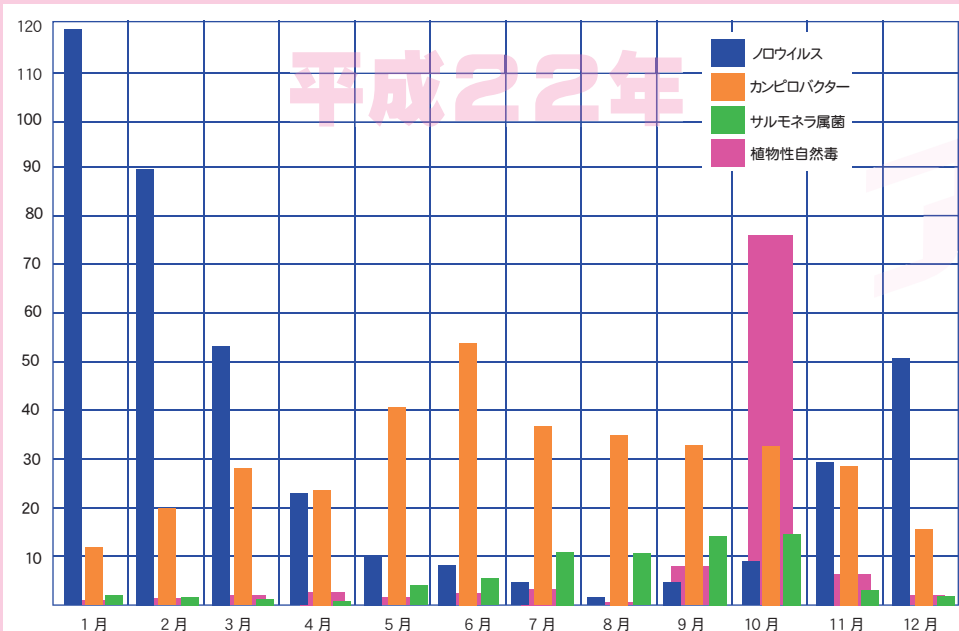
患者数、では圧倒的にノロウイルスが多く、次にサモネラ属菌、カンピロバクターの順になっています。

平成 22 年度 食中毒病因物質別判明事件数



事件数ではノロウイルスが1番、続いてカンピロバクター、そしてこの年は植物性自然毒も多く発生しました。

平成 22 年度上位月別発生状況



ノロウイルスは1月に多く事故が発生し、10月には植物性自然毒(きのこ等)による事件数が大幅に増加しました。